

おひさまパワー 売ります

太陽光電力の購入希望者募集開始

京都市内の太陽光発電などで生み出した電力を事業者に購入してもらう「京グリーン電力制度」で、実施主体の「京のアジエンタ21フォーラム」(事務局・伏見区)は二十三日、購入事業者の募集を始めた。

事業者向けに京のNPO

きょうとグリーンファンド事務局長で同フォーラムメンバーの大西啓子さん(58)は「規模は小さいが、証書分の十円がおひさま発電所につなが

制度は昨年十月に創設。事業者は実際の電気代のほかに太陽光発電施設増設に充てる一割時十円を寄付し、太陽光発電の電力を購入したと見なされる。昨年度は試行的に嵐山、東山の「花灯路」で適用した。今回が一般向けの本格実施となる。

「京グリーン電力」を購入できるのは京都市内の事業者や団体で電力消費を伴う事業や催しに使える。一事業者当たり千一萬割時が上限。事業者には証書とロゴマークの使用権が与えられ、環境に優しい企業、イベントとしてPRできる。

電力の総販売枠は、NPO法人(特定非営利活動法人)「きょうとグリーンファンド」が市内の

幼稚園などに設けた七つり分りやすく愛着がわくはず。取り組みを広げていきたい」としている。公募は五月九日までで先着順。問い合わせは同フォーラム☎075(647)3535。



京グリーン電力証書の購入事業者を募集する京のアジエンタ21フォーラムのメンバーの大西さん(左)と林さん(京都市伏見区)